

今回の紹介地区 No.149 宮城県 亶理町 逢隈地区

被災者支援実証ほ場を活用した事例
 (農地リフレッシュ通信第31号で紹介した事例)

取組概要

対象面積:5.3ha(うち耕作放棄地4.5ha)

実施期間:平成23年7月10日～平成23年9月30日

取組経過:7月中旬:クリスマス出荷を目指し、荒廃した農地の再生作業を開始
 8月上旬:井戸掘削(被災者支援実証ほ場)及びパイプハウス等施設の設置
 (東日本大震災農業生産対策交付金を活用)を開始
 8月中旬:再生作業(刈払～整地)完了
 9月下旬:井戸掘削及びパイプハウス等の施設整備完了
 10月上旬:イチゴ苗の定植開始
 12月20日:再生農地でイチゴを収穫

被災者支援実証ほ場の取組状況



再生前の状況



いちご苗の定植



再生作業況



収穫作業状況



亶理町逢隈地区 パイプハウス配置

対象農地の位置図

今後の予定

取組当初の段階で農地の貸借調整がつかず再生作業に着手できなかった約3.5haの農地(耕作放棄地2.6ha)を、再生被災者営農継続支援耕作放棄地活用事業によりH24年3月を目途に再生する予定。

問い合わせ先:亶理町耕作放棄地対策協議会 0223-34-0504(農業委員会事務局内)